

2021 生態工学会オンライン大会マニュアルーポスター発表用ー

1. オンライン会議システムについて

- オンライン大会では、Web 会議アプリ Zoom を使用します。
- Zoom にアクセスするときはアプリの使用を推奨します。特に、発表者の方は事前の接続確認のため、https://zoom.us/download#client_4meeting から最新版（無料）のインストールをお願いします。
- オンライン会議室に最初にアクセスするとアプリをダウンロードするように誘導されます。
- Zoom のアカウントは、作成することを推奨します。Google、facebook と連携した場合、そのアカウント名で登録されます。
- アプリを使用できない場合はウェブブラウザでもオンライン会議に参加できます。ただし、ブレイクアウトルームの移動ができないなど制限があります。また、ウェブブラウザによっては正しく動作しないことがあります。Google Chrome の使用が推奨されています。

2. ブレイクアウトルームへの参加と発表手順

ポスターセッションは、Zoom ブレイクアウトルーム（以下、BR と表記）の機能を使用して、ポスターごとにオンラインで実施します。当日は、以下の手順にて割り当てられた BR に入室し、研究発表を行ってください。

- ① 年次大会実行委員会から Zoom の招待メールを送ります。
 - ② オンライン会議室（メインルーム、MR）には、**2 日目の昼休みに BR を設定します**。BR 名は、「PXX_発表者名_所属_演題の最初の部分演題」（**字数の関係**）となっています。
 - ③ Zoom アプリで MR に参加後、ご自分の BR を確認の上、訂正があればチャットで事務局にお知らせください。
 - ④ Zoom アプリで MR に参加後、表示名が「受付番号+氏名+（所属）」になっていることをご確認ください。
 - ⑤ ポスターセッションの開始 15 分前には、MR に参加してください。
 - ⑥ MR に入室後、「反応→手を挙げる」で手を挙げた状態にしてください。
 - ⑦ 会場係からお名前をお呼びしますので、マイクとカメラをオンにしてご返事ください（会場係が気付かない場合は、呼びかけてください）。
 - ⑧ BR に入室し、ポスター（1 枚）を共有して待機してください。
 - ⑨ セッション開始後、聴講者が入室してきますので、発表を始めてください。
 - ⑩ 質疑などやり取りは、口頭またはチャットで行ってください。
 - ⑪ 発表時間が終了したら画面共有を止め、BR から退室してください。終了時間 5 分経過後からカウントダウンが始まり、60 秒後に自動的にクローズされ、全員が MR に戻ります。
- 実際の操作画面を示した追加資料（ポスター発表者向け Zoom マニュアル_パソコン版）を準備しますのでご確認ください。

3. 発表に関する留意事項

- ポスター全体を表示し、拡大・縮小、表示部分の移動などの操作は行わずに、マウスポインタを使用して内容説明をしてください。パワーポイントのポインタは、PC の性能や回線により上手く操作できない可能性があります。事前のテストで確認し不具合がある場合は、パワーポイントの閲覧モードを利用してください。
- 通常のポスターセッションと同様に随時聴講者が入れ替わりますので、その点に留意して説明や議論を進めてください。1回の説明を10分以上続けると対話の機会が減るだけでなく、説明の途中に入室した聴講者は理解し難くなる場合があります。例えば、1～2分でポインタを説明して、あとは質問に応じて詳細に説明するなどの工夫をお願いします。

4. トラブル発生時

- BR においてトラブルが発生した際には、「ヘルプを求める」を押すことで、会場係（ホスト）をBRに呼ぶことができます。
- ただし、発表中にシステムトラブルが発生し接続の切断や操作不能となった場合は、再度MRに接続し、同じBRに入室して発表を再開してください。

5. ポスター形式について

- 基本的にサイズや縦横比等の制限はありませんが、閲覧時にはパソコン画面に表示されることを考慮し、横長のワイド画面（16：9）を推奨します。
- 左上に、プログラムで確認した発表番号を記入してください。参考としてテンプレートを用意します。
- PowerPoint で作成し、トラブル用に PDF に変換したものをご準備ください。

6. 著作権の取り扱いについて

- 学会でのオンラインでの発表は、自動公衆送信による再送信とみなされます。著作物を使用するには、原則として、著作権者の許諾が必要となります。画像・音声等にも出典を明記することや、著作権を侵害していないことを確かめてください。
- 発表者が企業の方の場合や大学でも受託研究・共同研究などで、事前に発表の形式、聴衆の範囲などの許可を取っている場合、開催形式がオンライン発表に切り替わった場合には再度の許可手続きが必要になります。特に輸出貿易管理令に抵触する場合などではオンラインでの配信は許可されないこともあるので、発表者は十分に注意してください。

7. その他、全般的な注意事項

- カメラ、マイクの動作確認 雑音やハウリング等の音声トラブルを回避するため、ヘッドセットやマイク付きイヤホンの事前テストを推奨します。
- 事前に接続テストの機会を用意しますので、操作を各自でご確認ください。
- 安定したインターネット環境を確保してください。特に、無線接続では、接続数が多くなるとテスト時に問題がなくても不安定になる可能性があります。

以上